

# ゆずり葉だより (第23号)

令和3年7月発行

発行：秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会



今年度もコロナ禍のため、総会を開催することができず、事前にお送りした議案について書面により表決いただきました。会員82人中、承認66人で議案はすべて承認されました。

皆さまの御協力に感謝申し上げます。

新たな役員体制は次のとおりです。

会長：太田敦子、副会長：工藤聖子、書記：本間美佐子、会計：庄司光子

監事：岸 マサ、清水昱子、顧問：佐藤潤子

地区幹事：上野静子（大館・鹿角）、松橋セツ子（北秋田）、松田かよ子（能代・山本）

大島良子（秋田・男鹿・南秋）、河西淑子（由利本荘・にかほ）

高橋久美子（大仙・美郷・仙北）、照井富子（横手・湯沢・雄勝）

## ○ 太田敦子 会長 あいさつ

皆様こんにちは。このたび佐藤前会長の後任を継ぎました太田敦子です。どうぞよろしくお願いいたします。これまで副会長として役員の仕事をしてまいりましたが、これからも国保連合会、役員の皆様、会員の皆様のご支援を頂きながら会の運営に力を注いでまいります。

さて、ゆずり葉の会は今年足かけ40年の歴史を刻むことになりました。昭和、平成、令和とその時々、歴代会長のもと、会員相互の親睦はもとより、職能団体として社会（住民の方々）に“健康をお届けする”役割を果たしてきたと思います。現職時代に身につけた専門スキルをもとに、求められる活動のためにブラッシュアップしたスキルを活かしながら応えてまいりました。これからも引き継いでいきたいと思っています。

また、国保連合会からは多大なご支援を頂きながらも、会としては会費をもとにした自主的な活動も行っております。この会費収入によって必要な業務を自由に企画してきましたが、これは全国の在宅保健師等の会ではめずらしいことです。コロナ禍の中ではなかなか計画した事業展開にも限界はありますが、収束した暁には“自分の為になりかつ、楽しい自主事業”を実施したいと思っております。ご参加についてもよろしくお願いいたします。（令和3年5月末）

## ○ 佐藤潤子 前会長（現顧問） あいさつ

この度の役員改選で会長を退任いたしました。これまで支えてくださった会員、役員の皆様本当にありがとうございました。平成25年から8年間、大先輩が築いてきたこの会を盛り立てていかなければという一心で活動して参りました。今はコロナ禍の中で、思うように活動ができない状況ですが、時代の動きに合わせながらも、住民のためという保健師活動の原点を忘れずに進んでいきたいものです。このたび頂いた「顧問」という役は重いですが、多くの知恵と柔軟な対応力を持つ役員の皆様と共に歩んでいける幸せをかみしめ、できる限り協力させていただこうと意を新たにしております。よろしく願いいたします。（令和3年5月末）



佐藤前会長及び池田前顧問、前役員の皆さま、長い間お疲れさまでした。



## ○ 祝 意



大場トシ子さん（由利本荘・にかほ地区）が2021年春の褒章で瑞宝単光章を受章されました。誠におめでとうございます。



## ○ 令和3年度の主な活動と活動へ従事する会員（予定）

### 自主事業（交流・研修会）

新型コロナウイルス感染症の発生状況をみながら、内容を検討していきます。



## 秋田市「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る事業」（一部を受託）

### ①ハイリスクアプローチ（訪問）事業

太田敦子、佐藤潤子、幸坂徳子、大島良子、春日静子、鏡妙子、坂本優子  
宮腰玲子、庄司光子、佐藤キヤ子、澤木みわ子、難波はつ子、渡辺美和子

### ②ポピュレーションアプローチ（通いの場での講話）

太田敦子、佐藤潤子、岸マサ、幸坂徳子、大島良子、春日静子、  
鏡妙子、宮腰玲子、庄司光子



## 潟上市「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る事業」(一部を受託)

(※状況不明者の家庭訪問)

大島良子、太田敦子、佐藤潤子、春日静子、鑑妙子、庄司光子、北島真喜子

## 株式会社アルファシステム「フレイル健診」(一部を受託)

(※問診後の保健指導)

佐藤潤子、春日静子、太田敦子、庄司光子、本間美佐子、大島良子、鑑妙子  
岸マサ、幸坂徳子、河西淑子

## 秋田県後期高齢者医療広域連合「高齢者健康づくり訪問指導事業」(一部を受託)

(※対象地域：能代市、由利本荘市)

従事する会員を調整中です。

## 県内避難者こころの寄り添い事業(会員を派遣 ※実施主体は秋田県総務課)

松田かよ子、大島良子、太田敦子、春日静子、佐藤潤子、庄司光子  
河西淑子、小松京子、渡辺健子、照井富子



その他の事業については、次号でお知らせします。

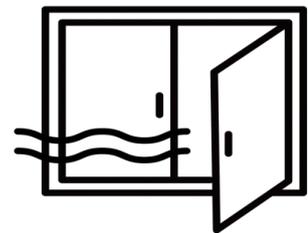
### ○ 新型コロナウイルス感染防止について



予防接種を幅広い年代が受けられるようになり、集団免疫ができるまでは、三密(密集、密接、密閉)を避け、石けんによる手洗い・手指消毒用アルコールでの消毒や換気など、個人でできる予防策を続けることが大切です。また、これら予防策を家族や友人など身近な方が継続できるよう、繰り返しお声がけをお願いします。

また、予防接種や感染者の濃厚接触者に対する健康相談・健康観察等、自治体からの要請に応じ、コロナ収束に向けた活動を精力的に実施している会員もいます。

感染予防策と併せて人とのつながりを大切にしながら、伸びやかな暮らしが早く戻ってくるよう願っています。



## ○ 事務局からお知らせ

### ① 会員を募集しています。

一緒に活動してくれる仲間を募集しています。入会についてお声がけくださるようお願いいたします。



### ② 御意見・御希望をお寄せください。

コロナ禍のため会員が集まる機会を制限せざるを得ず、皆さまと意見交換する場が少なくなっております。会の運営や活動についての御意見・要望等がありましたら、書面（様式は自由）でお送りくださるようお願いいたします。

送り先：010-0951 秋田市山王四丁目2-3

秋田県国民健康保険団体連合会 事業企画課保健事業班  
(ゆずり葉の会事務局)